

基本理念
(教育大綱)

- 1. 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『確かな学力・豊かな心・健やかな体』を備えた人」の育成
- 2. 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

小中一貫教育で
つけさせたい力

- 1. 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲
- 2. 豊かな人間性
- 3. 健全な心身
- 4. コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力
- 5. 当別が好きな子ども

学校教育	基本方針	小中一貫教育6年目、新たなステージへ～併設型、一体型それぞれの小中一貫教育推進～			
	学びの連続性を踏まえた教育課程の編成・実施による 確かな学力(知)、豊かな心(徳)、 健やかな体(体)の育成	重点目標	【重点1】 確かな学力の育成 (知)	【重点2】 豊かな心の育成 (徳)	【重点3】 健やかな体の育成 (体)
		主な施策 (学校支援)			
		具体的取組	1. 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ① 小学校高学年で一部教科担任制を実施(加配、講師、学力向上推進講師4名、乗り入れ、担任相互) ② 情報教育(1人1台端末の活用、情報活用能力やモラル教育の充実) ③ 外国語教育(ALT配置(2名)、英検I B Aの活用) ④ 特別支援教育(支援員8名・介助員2名・看護師1名配置、巡回相談チーム・専門家の活用) ⑤ 学校教育指導主事による指導助言 2. とうべつ未来学 「ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育」の3本柱による教科横断的学習	1. いじめ防止、不登校児童生徒支援 (指導主事や各校生活指導担当、顧問弁護士、いじめ問題調査委員、道のSCやSSWの活用) 2. 全教育活動を通じた自他の命を大切に する教育 (道徳教育への位置づけ、講演講師選定)	1. 1校1実践や新体力テストの実施 (スポーツ推進協議会、大学との連携協力) 2. 美味しい給食の提供をはじめとする 食育指導の充実 (地場産食材、校長のリーダーシップ・ 教頭の調整力を発揮した当別高校の メニュー開発、地域との連携)
		達成指標	全国学力・学習状況調査等学力検査、NRT結果全国平均以上	いじめゼロ、不登校改善	全国体力調査、全種目全国平均以上
課題	1. 第5次当別町教育推進計画遂行(令和2年度施行) 2. 教育環境の整備 3. とうべつ学園の運営(教育課程、行事、環境等) 4. 地域や外部の教育資源の活用 5. 教職員研修(夏季・冬季)の開催 6. 予期せぬ事態への対応【新型コロナウイルス感染症防止対策の継続、1人1台端末による「学びを止めない」仕組みの充実、児童生徒指導事故に対する支援】 7. 働き方改善【部活動の在り方検討(休日の地域部活動研究)、1年単位の変形労働時間制導入、教職員・事務職員の標準的職務内容の明確化】 8. 各中学校区コミュニティ・スクール(CS)の支援				
社会教育	基本方針	全ての町民が幸せを実感できる 生涯学習社会の実現			
	重点目標	【重点1】 新たな生涯学習プログラムの充実	【重点2】 児童生徒支援の充実	【重点3】 図書館機能の充実	
	主な施策				
	具体的取組	1. 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携、地域の人材活用 2. 「当別歴史・文化プロジェクト」の運営(歴史研究、学習講座や講演会の開催) 3. 多世代交流事業(高齢者の生きがいづくり)の推進	1. 授業への講師派遣 2. 放課後学習会、土曜教室、地域巡検の実施 3. スポーツ活動に対する支援 (地域運動部活動事業の推進、北海道医療大学や日本体育大学との連携)	1. 子ども読書活動推進 2. 学校図書館への指導・助言 (司書の活用、とうべつ学園図書室地域開放検討) 3. 主催事業の企画立案 4. 町図書館運営のさらなる充実	
	達成指標	事業への参加者前年比10%増	学校要望100%、学習会参加者前年比10%増	貸出図書数前年比10%増	
課題	1. 第5次当別町教育推進計画の遂行(令和2年度施行) 2. 第3次当別町子ども読書活動推進計画の遂行(令和2年度施行) 3. 社会教育施設の整備(総合体育館、図書オンライン予約システム) 4. コロナ禍における事業実施の工夫 5. とうべつ学園図書館の運営支援 6. ボランティア活動の充実(図書館、古文書解析)				
子ども未来	基本方針	子どもの健やかな成長			
	重点目標	【重点1】 子育て支援の充実	【重点2】 幼児教育・保育の充実	【重点3】 発達支援センター機能の充実	
	主な施策				
	具体的取組	1. 子どもプレイハウスの保育活動充実(委託初年度に関する評価) 2. 社会教育や福祉部等各部署との連携による保護者(子育て)支援 3. 児童虐待防止や発生時の学校をはじめとする関係機関との調整	1. 保育士確保のための支援 2. 認定こども園の特別支援教育に係る支援 3. 幼保小間の接続プログラム(令和2年度作成)の遂行	1. 療育支援の質向上のための関係職員の専門性向上 2. 発達支援センターと学校・保護者との適切な情報共有 3. 福祉部局との連携による早期療育支援	
	達成指標	関係機関との速やかな連携	待機児童0、幼保小間の連携	利用者満足度90%以上	
課題	1. 第5次当別町教育推進計画の遂行(令和2年度施行) 2. 第2次子ども・子育て支援事業計画の遂行(令和2年度施行) 3. 幼保小間接続プログラムの遂行(令和2年度作成) 4. 子どもプレイハウスの円滑運営(委託初年度) 5. 関係機関との連携、情報共有の在り方				

点検・評価

1. 2. 学校は、自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会による評価を受ける。

1. 2. 教育委員会は、自己点検・評価を行い、外部評価を受け、議会へ報告する。

学校経営計画